

第21回 留学生里親・里子だより

●「留学生さとおやの会事務局」

〒540-8508 大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20 (株) サクラクレパス内

TEL:(06)6910-8800 FAX:(06)6910-8837

2014年9月発行

HPアドレス:<http://www.craypas.com/satooya/index.html>

平成26年度対面の会

—司会席から—

田仲八重子

今年度の対面の会は 6月21日(土)大阪商工会議所 白鳳の間で14:00から行われました。それに先立ち、13:00からは今回初めてとなります、交流をスムーズにするための里親さんへの具体的な説明会を西村代表幹事よりしていただきました。

対面式は今回私が司会のお役を頂きました。司会の席から見ていますと、緊張のような期待のような表情が里親さんにも里子さんにも伺えました。大学の行事と重なったり、またそれぞれのご都合で到着が遅れたりはあるのですが、それでも時間を工面して参加の方にご努力して下さったことは嬉しく思います。普段の学校等とはまた違って、こういう席では里子さん同士でも仲間意識が芽生えるようで楽しそうに見えました。何度かお引き受けしているお役にもかかわらず、毎回練習をしていくのですが、やはり本番ではカミカミでお聞き苦しいところがたびたびで申し訳なく思っています。対面の後はお茶を頂きながらの歓談で、時間いっぱいまで楽しんでいられたようです。

その後、大阪企業家ミュージアムを見学し説明をしていただきました。私にとっては、ここ数年毎年のように聞いている説明ではありますが、企業家と言われる人たちの「こころ」の強い信念には何度聞いても感じ入るものがあります。この里子たちの中からもこんな風に名を残す子達も出てくるんだろうな、なんて思ったりしていました。

秋には遠足が控えています。そんな機会も利用して里親さん里子さんが縦や横に繋がってお互いにサポートできればよいなと思っています。



オリエンテーションに寄せて

比嘉 松子

今年は初めての試みとして、対面の会に先立ち、「里親のためのオリエンテーション」が開催されました。新しい里親さんが増えていることもあり、初心に立ち返り、里親について改めて理解いただくためのものです。西村代表幹事様より参考資料を実際の体験をもとに、丁寧にご説明くださいました。漠然と我が家のペースで交流を続けていますが、これで良いのか?と常々思っていました。お客様扱いをせずに、我が家なりに続けていくことが大切であるということ再認識し、ホッとしました。里子との関係は意味深いものがありとても勉強になっております。

さて、その里子達の背景として政府が打ち出した2020年までに「留学生30万人計画」は日本を世界に、より開かれた国としてアジアを含め世界のヒト・モノ・カネ・を拡大する「グローバル戦略」を展開する一環として受け入れを目指すと言われています。そして現在日本で東京に次ぐ大阪が2番目に多くの学生を受け入れています。 現在府の方で新国際化戦

略の一環として国際人材の育成に力を入れる計画を進めているそうです。

留学生の受け入れは中国をはじめとする韓国・台湾そして近年目覚ましく経済発展してきたアセアン諸国10ヶ国(タイ・インドネシア・マレーシア・シンガポール・カンボジア・ベトナム・フィリピン・ミャンマー・ブルネイ・ラオス)からはこれから増えつつあります。

特に日本とアセアン諸国との関係は周知のとおり現在政府が活発な外交を行いビジネスパートナーとして又、文化交流も盛んに深めて来ております。このような背景から日本語熱が高く増加傾向のようです。特にアセアン諸国により日本の暮らしにとって身近な存在です。アジア各国の料理が日本の食文化に上手く溶け込み、日本の食糧事情を支えられていることは言う迄もありません。

日本の技術や文化に興味を持ち、多くの学生は日本企業に就職を希望しています。学生たちの将来に向けて、少しでもお役に立つべく日本式の礼儀やものの考え方等、里親として愛情を持って接し伝えたいものです。これは正に私達さとおやの会は民間外交として誇れるものではないでしょうか。



里親

日本とミャンマーの架け橋 EIちゃん

松下 薫 (尼崎市)

ミャンマーから初来日のEI EI MOE HTETちゃんにお会いしたのは、大阪大学での対面式でした。“かわいい笑顔の小柄なお嬢さん”という第一印象でしたが、色々とお話をしていくと流暢な日本語で滞在中に何を学び、何をしたいかをしっかりと伝えて下さいました。

対面式以降、EIちゃんと同級生も一緒に我が家にご招待し、私の弟家族や友人たちと「てんぷら」や「巻き寿司」作りを体験してもらい、EIちゃんにもミャンマーの郷土料理を振舞ってもらいました。ミャンマー料理、とても美味しいです！私もすっかり気に入ってしまって2人で神戸までミャンマー料理を食べに行きました。

そして、私の中での一大イベントとして計画していたのが、京都で「舞妓さん変身」をしてもらうことでした。彼女は留学中に日本の着物について研究していましたので、伝統的な

着物を知ってもらいたかったのです。お化粧、髪合わせ、着物選びと段階をこなすうちに、どんどん美しくなるEIちゃんにみんな釘付けでした！（その美しさは、今回ご提供した写真が証明しています）

もっともっと一緒に時間を過ごしたかったのですが、滞在1年はあっという間でもうすぐ帰国です。未来あるEIちゃんこれから日本とミャンマーの架け橋になってくれる事を心から望みます。

このような素晴らしいプログラムに参加させて頂いた「さとおやの会」事務局の松井様に感謝申し上げます。

そしてEIちゃん、私のところへ来てくれて本当にありがとう！！



里子

私の日本の家族

EI EI MOE HTET (ミャンマー)

人と人が出会うのは奇跡だと思います。なぜなら、ミャンマーでは出会うことは「縁」があると信じているからです。私もそれを信じるから、ホストファミリーとも何らかの縁で知り合うことができ、家族という暖かい世界が始まったのです。

私のホストファミリーは松下ファミリーで、2013年の10月に初めて会った。大阪大学のホームビジットのプログラムに参加し、初めて会う日は緊張しました。今まで、6回ぐらい会い、いつも優しく家族の一員として接してくれて嬉しく思っています。分からない事も教えてくれました。一緒に食事に行ったり、遊んだりしました。パーティーに誘われることもありました。国際交流会の文化体験にも誘ってくれて、日本の文化にふれること



ができました。着物や茶道、華道などです。また、家にも訪問し、家族との食事時間を過ごしました。いろいろ話して、食事して、楽しい時間でした。プレゼントも用意してくれました。その時、ホストファミリーの会社の同僚も参加し、知り合い、話すチャンスなど



が増えて交流が広くなりました。また、時には人生のいろいろなことも教わって、勉強にもなった。

私はホストファミリーから日本の文化をたくさん学びました。中では、舞妓さんの変身も体験できました。着物を着てお粉を塗った姿を触れることができ、素晴らしいかったです。普段ではできないお粉メイクが体験できました。それから、街で食事したり、お寺の参りもしました。京都までお寺参りで、高台寺について勉強になった。桜の時期なのでお花見して、いろいろ歩き回って、日本らしい風景が味わえました。

それに、私の国ミャンマーのことも関心持ってくれました。ミャンマーの言葉とか食べ物とかも探してどのようかも聞いて、うれしいです。ミャンマー料理屋にも一緒に行きました。美味しいといつても暖かく接してくれました。

家族としてたくさん話し合い、行動して、より深い絆になっていくと思います。

里親 2 年目よもやま話

吉本 興 (奈良市)

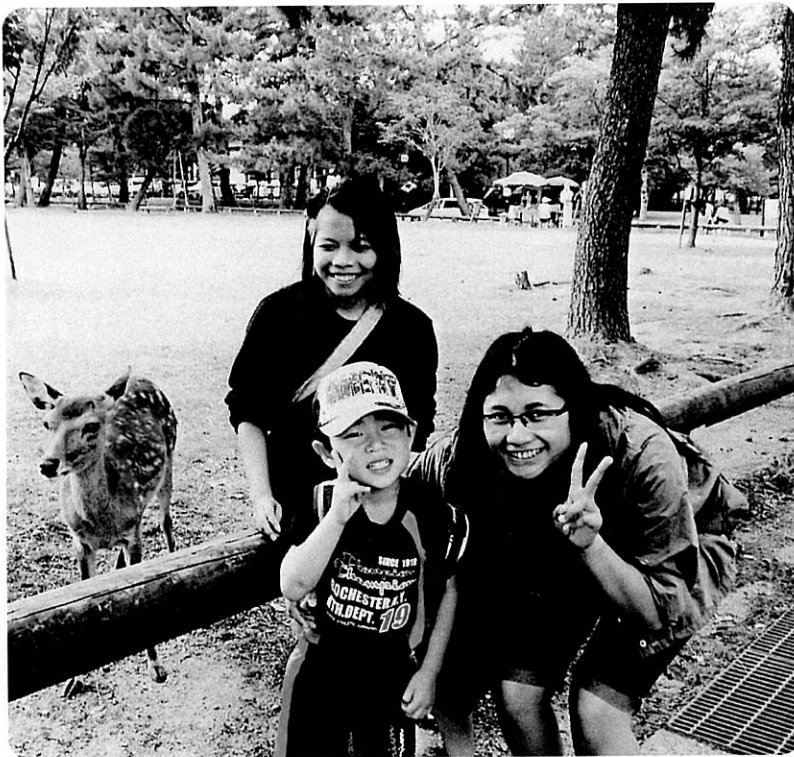
今年の対面の会でインドネシアからの留学生、オブリさん(女性)との出会いがありました。今から思えば少し反省に成りますが、2年前、最初の里子は中国からの男子留学生のT君でした。最初で対応する心得が解らず、外での食事が多く、その後カラオケ等を楽しみましたが、その後の会話が余り進みませんでした。T君は今年4月に東京の大学に編入学し、現在、千葉に住んでいます。私の長男とはメール等で交流を継続しています。

家内の希望も有り、今年の対面の会では、女性の留学生を希望しました。オブリさんとは会話が良く進みます。私が昔、販売の仕事でインドネシアを旅した時に食した現地の料理、ナシゴレン(焼き飯) ナシバクミ(焼きそば) サテー(ココナツ

味の焼き鳥)の話をする、オブリさんは早速、自分で調理したナシゴレンを持って来てくれました。日本米で少し柔らか目ですが、懐かしい味を堪能しました。オブリさんは、現在、夏季休暇を利用してジャカルタに一時帰国中で、8月末迄には大阪戻りの予定です。次回は我が家で、素人初段の腕に磨きをかけ、蕎麦打ち会を開きたいと思います。

添付の写真は、オブリさんとオブリさんの妹、小生の孫、家族と奈良公園を訪れた時のものです。東大寺迄の徒歩道中、鹿に煎餅を与える事、大変興味深く、初めての奈良を楽しんで貰いました。オブリさんが4歳になる孫のお世話をしてくれて助かりました。午後は孫、家内と近鉄奈良駅で別れ、我々は奈良町に足を延ばしました。古い町屋の周辺を散策しました。4時頃に、亜熱帯地方を思わせる、スコール(夕立)が有り一時雨宿り、インドネシアではスコールが多く、其の後、日が陰り少し涼しくなるとの事でした。雨上がりの後、彼女た

ちは自分達で散策したいとの事でしたので、散会としました。



編集 後記

今年の対面の会では51名の留学生のマッチングをしました。あれから早2か月が過ぎ、楽しい交流が始まっていることと思います。今年は里親さんのためのオリエンテーションも開催しました。里親さんにとって、今後の交流の一助になっていければ良いのですが。

会報誌に載せる記事を募集しています。本会への提言でも結構ですし、留学生とあんなことした、こんなことした、ということの紹介などお寄せいただければと思います。それぞれの交流が皆さんへの参考になると思います。是非ご披露くださいますようお願いいたします。

また、里親さんになってくださる方、本活動にご興味のある方がいらっしゃいましたら、ご紹介いたしますよう、よろしくお願い申し上げます。来年の対面の会を待たなくても、随時対面の場を設定させていただきます。(事務局)